

第10次江戸川区交通安全計画（案）の意見公募結果

1 意見募集期間

令和8年3月15日（日）から令和8年4月13日（月）まで

2 周知方法

広報えどがわ、区ホームページに掲載するとともに、土木部施設管理課北棟3階交通安全推進係窓口で閲覧

3 提出方法

区ホームページ（メール）、郵送又は持参

4 意見募集の結果

意見提出数 3件（3名）

	意見の概要	回答
1	<p>交通安全の観点から自転車への対策が急務ではありますが、ブルーゾーン上の自動車等の駐停車、看板設置等がある等、自転車の安全環境確保がセットになって初めて成り立つ物と考えます。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道では、歩道上の自転車の高速走行をさせない為の車止め等の設置。 ・車道では、ガードレール等を用いたブルーゾーンと自動車道との完全分離。 ・高齢者等の横断禁止場所の横断対策としては、中央線上に柵の設置。 ・未就学児の安全確保としては、車道と歩道の境の無い路地では、散歩時間等、時間を決めて車両通行止めとする。 <p>更に、ルール、マナー向上の為、児童生徒には、学校での交通安全の必須授業化。</p> <p>未就学児童には、親世代への教育として、母親父親学級、産婦人科等と連携をして教育を。</p> <p>成人、高齢者等には、メディア媒体等を利用した啓発活動、東京都とも連携をし、東京アプリ上等で成人向けにも交通安全教室の実施案内を提案した</p>	<p>ご意見を参考に、さまざまな機会を捉えて今後も一層の啓発に取り組んでまいります。</p> <p>また、道路の構造上の特徴や利用状況を鑑みて、今後の課題として東京都や警察等の関係機関と連携して、実施の可否を研究いたします。</p>

	く存じます。	
2	子どもの頃から自転車の正しい乗り方を知っていれば、大人になってからも身につけているだろうから、小中学生向けの自転車講習会を増やした方がよい。	これまでも本計画に基づき区内の小中学生向けに自転車運転教室、中学生向けにスタントマンによる交通事故の再現などを織り交ぜた自転車交通安全教室を毎年実施してまいりました。今後も本計画案に基づき、引き続き小中学生の自転車安全教育に取り組んでまいります。
3	素晴らしいと思います。	ご賛同ありがとうございます。